

「寝屋川市地域公共交通協議会（第11回）の書面開催」に対する回答  
 （意見のあらましと市の考え方）

番号	意見のあらまし	市の考え方
案件(1) 施策の取組状況について		
1	2-1運転免許自主返納の促進について、ワガヤネヤガワ健康ポイント事業は令和2年3月31日までとのことですが、その後も事業が継続されることよろしいでしょうか。	ワガヤネヤガワ健康ポイント事業は終了いたしますが、運転免許自主返納の促進についての施策は、高齢者の公共交通の利用促進を図るため、引き続き、検討いたします。
2	5-2提携店舗や施設での割引やポイント制度の検討について、大規模商業施設との協議はどのような内容となっていますか。	提携店舗での割引やポイント制度について、ビバモール寝屋川店への拡充やポイントの増加等の協議を行っているところです。
3	Ⅱ-2目標・評価指標ごとのアクションプランの「成果・実績」の「R1（2019）」の欄が「－」となっている項目が多くありますが、まだ年度内であるため計算できないからでしょうか。	「－」の入っている項目については、計画の最終年（R5（2023））に目標値の達成状況を評価いたします。
4	2-2介護予防施策の見直し及び3-3デマンドタクシー導入可能性の検討において、ねやがわ乗合いワゴン事業が記載されているが、当該事業は本協議会において議論された事業ではない。また、本協議会で既存の公共交通機関への影響について強い懸念が表明されており、慎重に検討する必要があることから、アクションプランの成果・実績として記載すべきではない。	ねやがわ乗合いワゴンについては、既存の公共交通への影響度合を共有するためにも、本協議会において報告するとともに、アクションプランにも成果・実績として記載いたします。
5	6-1鉄道駅周辺の整備について、駅周辺以外の各バス停留所及び4-1ノンステップバスの推進についてを鑑みて、バリアフリーの観点からも、バス待ち環境の整備（バス停留所での車いす等の取扱い整備）計画も必要と考えられます。	バス待ち環境の整備については、本計画では市内4駅の整備について、バス利用者の利便性の向上を図ってまいります。その他のバス停については、今後、バス事業者と検討してまいります。
6	3-3デマンドタクシー導入可能性の検討の成果・実績については、前回の協議会では無料のねやがわ乗合いワゴン事業が既存の公共交通事業者への影響や実験導入に至る経緯について、懸念する意見が出されていることから、「ねやがわ乗合いワゴン連携会議」において、実験導入の利用状況や既存の公共交通事業者への影響を検証し、検証結果を基に本格導入の可否について、本協議会で報告・説明していくことを記載すべきである。	ご意見を踏まえ、「本格導入の可否について、本協議会で報告・説明していく」ことを追記いたします。

「寝屋川市地域公共交通協議会（第11回）の書面開催」に対する回答  
 (意見のあらましと市の考え方)

番号	意見のあらまし	市の考え方
7	<p>1-1イベントの開催（スタンプラリー・絵画展等）に記載の「バス！のってスタンプラリー」については、公共交通の利用促進に繋がるとは思えない。参加人数も寝屋川市民で100人に達しておらず、一過性でない利用促進の方策を検討してみてもうかがいましょうか。</p>	<p>「バス！のってスタンプラリー」については有効と考えているが、本市独自のイベントについて検討し、公共交通サービスの周知・普及を行ってまいります。</p>
8	<p>1-2IICカード・ポイントサービスの普及促進及び4-2バスロケーションシステムの普及促進について、前回も指摘したが、バス事業者自体がもっとPRすべきである。</p>	<p>ICカード・ポイントサービスやバスロケーションシステムを活用したバスナビなど、ねやがわ交通タウンマップにも記載していますが、PR方法について、バス事業者と検討してまいります。</p>
9	<p>3-1バス路線（タウンくる含む）の見直しについては、12月、4月に路線の改定が行われたが、本協議会で事前に説明があるべきである。なお、タウンくる音羽町線も変更されるが、適正な運賃に変更されるものとして理解しています。</p>	<p>バス路線の見直しにより、バスの増便や新たな路線の構築などについては、本協議会で諮ってまいります。今回のダイヤ改定については、運転手の兼ね合いなどによるバス事業者自体が改定したものであるため、本協議会への説明は不要と考えております。</p>
10	<p>4-3バスマップの作成・配布については、Webやアプリからも開けるようにして頂きたい。</p>	<p>ねやがわ交通タウンマップについては、ホームページ等に掲載を予定していましたが、データの容量の関係で掲載できていない状況であります。</p>
11	<p>全般として、費用を記載していないので、費用対効果が一目瞭然になるよう記載して頂きたい。</p>	<p>費用の記載については、今後、検討してまいります。</p>

「寝屋川市地域公共交通協議会（第11回）の書面開催」に対する回答  
 (意見のあらましと市の考え方)

番号	意見のあらまし	市の考え方
案件(2) ねやがわ乗合いワゴンについて		
12	ねやがわ乗合いワゴンの利用者からは、どのような意見を頂いていますか。	主な意見といたしましては、「鉄道駅まで行ってほしい」、「エリアが限られているため不便である」、「エリアを広げてほしい」などの意見が大半を占めております。
13	ねやがわ乗合いワゴンが運行されている地域の方々からは、何か意見・感想（車両が自宅周辺に入り込んでくることなどに関して）を頂いていますか。	ドア・ツー・ドアで送迎しますので、大変便利であるとの意見であります。
14	ねやがわ乗合いワゴンのドライバーの方からは、どのような意見・感想を頂いていますか。	電話対応について、利用件数が増えたり、時間帯が重なった時などは、利用者に待って頂くことになることから、1人では厳しい場合があると聞いております。
15	「乗合い」と謳っていますが、同居人以外の方が同時に使用するようなケースはあるのでしょうか。	マンション、団地にお住まいの方については、複数人で利用されております。
16	一定の利用者が反復して利用しており、極めて少数の方たちのための手段となりつつあること。また、費用負担が大きく、平等・公平性に欠けることから、政策の必要性・妥当性に関して多面的な検討が必要であると考えます。	外出に支障を感じる多くの市民がおられる中で福祉的要素を持つ本事業は、費用対効果で議論すべきではありませんが、多面的な検討は必要と考えられますので、「ねやがわ乗合いワゴン連携会議」で検討してまいります。

「寝屋川市地域公共交通協議会（第11回）の書面開催」に対する回答  
 (意見のあらましと市の考え方)

番号	意見のあらまし	市の考え方
17	<p>令和2年3月9日より、河北地区からのスーパーマーケットの送迎先を門真市内（「島頭」停留所すぐ）へ変更されているが、運行開始後の変更について記載がない。また、ねやがわ乗合いワゴン事業は、既存の公共交通機関への影響を慎重に検討する必要があるが、今回の送迎先変更について、事前協議もなく、今後の送迎先や運行地区の変更及び拡大に対し、非常に強い懸念がある。</p>	<p>ねやがわ乗合いワゴンについては、交通事業者と丁寧な協議を行い、本格導入に向けて検討してまいります。</p>
18	<p>実証実験開始前は、各地区からバス停への送迎と説明されていたが、実際には送迎場所の拡大、市外への送迎を実施しており、更に、今後も送迎地区の拡大や広報活動を積極的に実施すると報告を受けた。しかも、他の公共交通機関があるにも関わらず、無償での輸送は明らかな民業圧迫行為であり、市に対して本事業の運用の見直しを申し入れます。</p>	
19	<p>当初、地区内での運行と理解していましたが、実際には地区外への運行がされており、利用件数・利用人数のうち、運行前には既存の公共交通機関を利用していた方々が、ねやがわ乗合いワゴンに移行している割合が気になるところです。そのことによって、既存の公共交通従事者への負担増（収入減）に繋がるのが危惧され、ひいては既存の公共交通の更なる減便等に繋がらないのか、そのことへのフォローはどうされるのかをお教えてください。</p>	
20	<p>公共交通事業者の方々は、事業に影響があることを懸念されているが、高速・大量輸送の大きな交通（電車・バス）に対し、小さな交通も整備しないと外出ができない方もいると思われる。検証期間中にうまく改善していけば、結果的に外出機会が促進され、鉄道・バス・タクシーの利用も増える可能性も考えられる。ライバルは、バス・タクシーではなく自動車だと思われる。</p>	

「寝屋川市地域公共交通協議会（第11回）の書面開催」に対する回答  
 (意見のあらましと市の考え方)

番号	意見のあらまし	市の考え方
21	<p>バス事業者は、既に経営面・人的資源面で苦しい状況にあることは本協議会で共通認識されてきたところです。タクシー事業者にとっては、乗合いワゴンそのものが民業圧迫に通じるものになっていると思われま。さらに、長い目で見ると無償の交通手段を提供し続けられ、市自体の体力を奪っていくことにも繋がります。近畿運輸局からは、有料化し本協議会での審議事項にすることが一つの解決策であることも提言頂きました。「ねやがわ乗合いワゴン連携会議」を設立されたのはよいことと思ひますが、その会議内容では、将来的にどのような運用形態をされていくのかわかる範囲でお教へください。</p>	<p>既存の交通事業者に影響があるかどうかを確認するため、各交通事業者にデータを提供して頂き検証しております。具体的には、ねやがわ乗合いワゴンの運行前、運行後のデータを提供して頂き、どのような影響があるのか検証しているところでございます。</p>
22	<p>資料3で実績を見ましたが、私の想像より相当低かったです。前回の協議会でも多くの意見が出ていただけに、これで本格導入にはほど遠いと感じています。公共交通事業者や運輸局との調整もどのように進んでいるかなども情報を教えてください。</p>	
23	<p>利用が少ないのは新しい交通システムであり、利用に抵抗感があること、時間が読めないこと、バスへの乗継ぎ環境が整備しきれていないことなどが考えられる。事前予約をできるようにすることやバスのダイヤに合わせやすい方策を考えるなど、引き続き、調査してほしい。</p>	<p>交通事業者や地元自治会などと協議を行い、改善できるものは改善してまいりたいと考えております。</p>
24	<p>地区によって午前・午後の利用回数が違います。仁和寺地区は、一日中利用が多いですが、他の2地区は午前・午後で半分になっています。利用者が多くなり困るのではと考えていましたが、適度の利用でトラブルもなく、利用者は助かっていると思ひます。利用者の意見を吸い上げ、広報等でも発信してください。</p>	<p>利用者のご意見を踏まえ、運行状況や改善内容等については、どのような形で公表できるのか検討してまいります。</p>